



カルシウムのがん抑制効果を 日本癌学会総会で発表！

2006年9月28日～30日まで、横浜市のみなとみらいにあるパシフィコ横浜で開催された、第65回「日本癌学会学術総会」において、古野純典（この すみのり）医学博士と溝上哲也（みぞうえ てつや）医学博士による、カルシウムの大腸がん抑制効果についての研究結果が発表されました。
フジサンケイビジネスアイで紹介されていますのでご覧ください。

【古野純典（この すみのり）医学博士】
わが国で増加の著しい大腸がんの予防的要因を明らかにするための多面的研究をおこなっている。
大腸がんの動向と相關する要因を探す記述疫学的研究とあわせて、多施設症例対照研究をおこなっている。後者の研究では2003年までに調査を終わ

り、大腸がん症例840例と住民対照833例について生活習慣要因の情報が収集されている。現在、遺伝子多型を考慮して、生活習慣要因の影響を検討している。

【溝上哲也（みぞうえ てつや）医学博士】
日本人に多い胃がんと大腸がんに関連する生活習慣を疫学的手法により検索・評価している。
大腸がん及び大腸腺腫と関連する生活習慣について分析している。ビタミンD遺伝子多型との関連や、日本人で摂取不足が指摘されているカルシウムの予防効果にも注目している。

生態学的観察法により、大腸がん死亡率は日射量と負の関連があることを示した。低紫外線に伴うビタミンD不足が発がんリスクを高めるといふ仮説を支持する知見である。

大腸がん予防をめざした行動変容プログラムを作成し、その評価のため生活習慣や酸化ストレスマーカーを結果指標とした介入研究を行っている。

お料理にもお飲み物にも手軽に使える カルシウム補給に カルかる・パウダー

無味無臭ですから、すべての食品に
使えます。未焼成サンゴをパウダー
状にして、使いやすくしました。
調味料などの空き瓶に入れてご使用
ください。



ご飯や味噌汁、鍋物、煮物、パン、
ケーキ、飲み物など、どんなお料理
にも手軽に使えます。
ビールは泡立つのでダメですがそれ
以外のお酒に入れるとカルシウムの
補給もできて、悪酔い防止にもなる
ようです。

リン酸塩が入ったインスタント食品には、是非ご使用ください。

内容 サンゴパウダー・ビタミンC (50g x 2袋入り)
成分 カルシウム 35%・マグネシウム 2.69%・鉄 0.046%
ナトリウム 0.29%・カリウム 0.0056%・ビタミンC 1%
定価 2,310円(税込み)

2006年10月 2日(月曜日)

カルシウムやビタミンDの摂取
量が多い人ほど大腸がんになり
にくいことが、古野純典九州大教授
(予防医学)らによる約1700
人を対象とした疫学調査で分かっ
た。カルシウムなどの発がん抑制
機能は動物実験などで知られてい
るが、日本での大規模な疫学調査
は始めて。横浜市で開かれている
日本がん学会で発表した。
調査は2000～03年に実施。
福岡市と近郊の病院に入院してい

る大腸がん患者840人と、一般
住民から抽出した833人を対象
に、面談方式で詳細な食事内容や
生活習慣などを聞き取り、大腸が
んとの関連を調べた。
食事から算出したカルシウム摂取
量で5つの群に分類。

カルシウムの大腸がん抑制効果 1700人疫学調査で実証

大腸がんのリスクが低かった。
最少摂取群と比べ、最も多い群は
32%、2番目に多い群は14%、
日光に当たらないとカルシウム
の吸収を助けるビタミンDが体内
で作られないためと考えられる。
一方、食事からのビタミンD摂
取でも、最も量が多い群でリスク
が下がる傾向が見られた。
研究グループの溝上哲也国立国
際医療センター部長は、「大腸がん
予防の観点からは、日本人の6
割はカルシウム不足。十分に摂
って日光に当たるのが大事」と
話している

日光に当たらないとカルシウム
の吸収を助けるビタミンDが体内
で作られないためと考えられる。
一方、食事からのビタミンD摂
取でも、最も量が多い群でリスク
が下がる傾向が見られた。
研究グループの溝上哲也国立国
際医療センター部長は、「大腸がん
予防の観点からは、日本人の6
割はカルシウム不足。十分に摂
って日光に当たるのが大事」と
話している